



練馬文化の会主催

第2回公開講座&フリートーク

「毎日納税の消費税の問題点と税制の歪みーゆり籠から墓場までー」

知って驚く『あなたは大きく損させられているシリーズ』第2弾



11月11日(土)午後 2時～

豊玉リサイクルセンター(多目的室)(西武池袋線桜台

駅下車3分すぐ) 資料代 ¥300

講師 眞嶋康雄(國学院大学経済学部兼任講師)



◎揺り籠から墓場までの消費税

◎法人税は減税・減収、一般消費税は増税・増収。

◎「減税税中止?」「廃止?」富裕税にして30%でいいかも。

◎消費税増税で「財政改善?」。消費税税収割合4割で世界一

◎日本の本当の「税収」はいくら? 57兆円か71兆円か、

どっち?

◎「10%増税」でも史上最高(1990年)を超えられない

◎税制構造の歪みを「収納済額」「歳入組入額」「還付金」

の

キーワードで説明する。



◎不景気でも好景気でも大企業は笑顔? 還付金システム

二重のセーフティネット、大企業優遇のメカニズムが働く。

◎税金を払わず還付金を貰える大企業。法人税ゼロ15年間の大銀行、5年間のトヨタ。

◎外国人観光客相手の免税店、900億円架空売上で還付金詐欺70億円!!

◎超富裕層の海外証券資産100兆円には課税ゼロ、住民票移せば税金ゼロ





◎ 税制を直ちに改正しよう。税制は経済の根本。

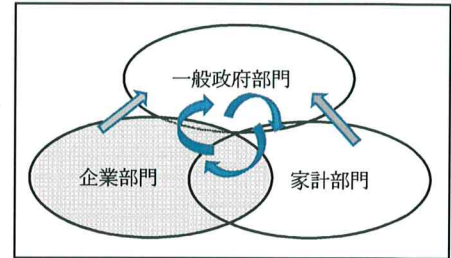
※総選挙でも論議になった消費税。皆さんの疑問に豊富な統計資料で「眼からウロコ」の話。参加者からの疑問、意見に答えながら（できるだけ）、一緒に知り考えてみよう。日本経済の基本中の基本の税制を学び、公正、公平な税制改革を実現して経済でも民主主義を。

※ 参加者の疑問、意見に答えながら（できるだけ！）、参加者と共に考えよう。

（参加の皆さんから会場でアンケート集計、フリートークもしましょう）

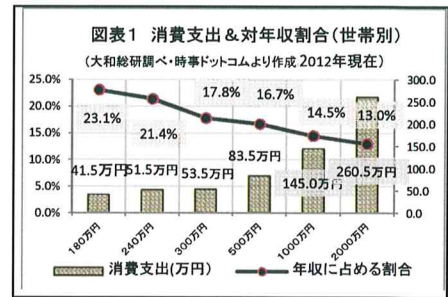
図表で解説・一般消費税と税制構造（文化の会「会だより」2017.10月号・経済連続講座第4回）

(1) 税は税制の基本点。国民経済・所得の再配分機能
 税制は国民経済の基本、財政の土台。経済民主主義の問題。
 所得移転する各税が財政活動の原資となり経済循環に大きな役割を果たす。（右図）

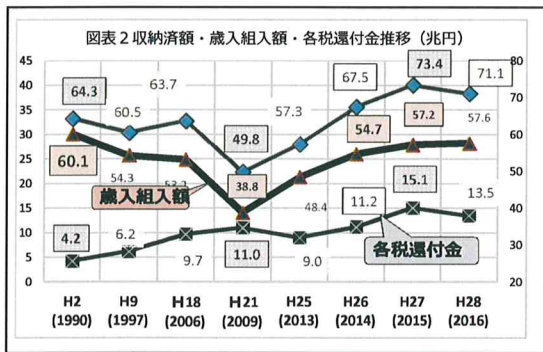


(2) 一般消費税の問題点－「逆進性」－

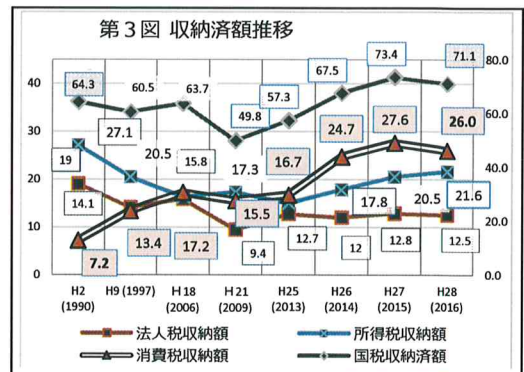
消費支出割合が高い低所得層ほど年収に占める税負担の割合が高くなる。能力に応じた「応能原則」や税負担の公平性に反する制度。（図表1）



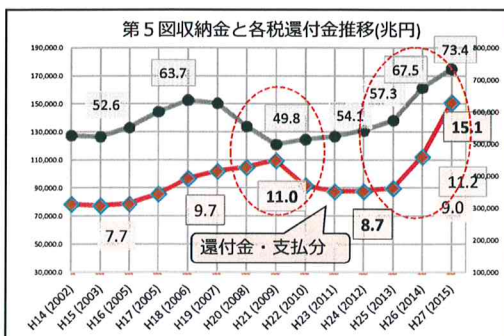
(3) 国税収納金、歳入組入額、還付金で解く税構造の歪み
 2015 円年の徴収額＝収納済額 73.4 兆円、歳入組入額(税込)
 57.2 兆円、各税還付金 15.1 兆円の関係は何を示すか。



(4) 収納済額のうち消費税額が最も増加
 法人税額は減収納金滞し続ける。消費税比率は
 37.5%、法人税比率 17.4%までに。（図表3）



(5) 収納済額と還付金の関係が示す大企業優遇税制
 収納済額が増加すると還付金も増加。しかし、収納額が減収しても還付金は増加。不況でも好況でもガツリ。（第5図）



- (6) その他 収納済額
- ① 8%負担、本当は 13%負担？
 - ② 税負担額、消費税 8%は付加価値税 15%と同じ？
 - ③ 物品税復活か。

- ④多段階課税方式って何。
- ⑤赤字になると法人税が戻る「繰越損金制度」って？
- ⑥カナダでは低所得層に消費税が戻る！